

まだひと踏ん張り、ふた頑張り!

●春日部地区浦高会の懇親会にて!

9月3日の春日部地区浦高会の総会後の懇親会では、本部の藤野事務局長及び会員の皆様から近況報告がありました。そんな中から幾つかを…。

* *

◆藤野・浦高同窓会事務局長

同窓会からのお知らせはお手元等お配りした資料を見ていただければ分かりますので、私からは先日、朝日新聞から受けた取材について報告します。埼玉県教育長が文科省からの方に変わられて、埼玉県内に男子校と女子校が10校あることに驚かれとのことで、共学の賛否について同窓会に意見が求められました。そこで、浦高の教育方針について話しました。「三兎を追え」や「無理難題に挑戦」は男女共学でも可能でしょうか、校内行事である新入生歓迎マラソン、臨海学校、強歩大会(古河マラソン)などが無くなったら浦高生で無くなるという話をさせてもらいました。強歩大会でも、昔は個々が頑張れば良いという校風でしたが、今は集団で頑張るって完走しようという風潮になっていることなどを説明しました。最後に記者から「共学反対ですか?」と聞かれたので、「共学には反対です。男女別学は埼玉県が誇る一つの無形文化財だと思います。」と答えました。〔9月4日の朝日新聞埼玉版に記事掲載〕

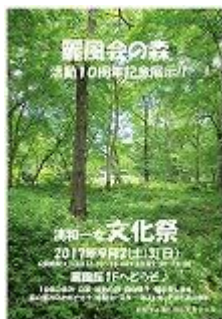
* *

ここで全員から大きな拍手が起こり、「その通り」との声も上がりました。ちなみに県内公立高校では男子校が4校、女子校が6校だそうです。

* *

◆石田知己さん(16回卒)

浦高百年の森も今年10月から13年目に入り、自立する森になりつつあります。この森の活動も7月に31回を数えましたが全回参加しています。2日と3日は浦和一女文化祭があり、その中で「麗風会の森10周年の記念展示」が行われていました。麗風会の森は浦高の百年森に道路を挟んで隣接しており、木よりも草花を楽しめる森で、綺麗に手入れされている様子が伝わってきました。百年の森活動は、7月の草刈り、11月の枝打ちと最近では楽になってきましたので、皆さんの参加をお待ちしています。



* *

全回参加は石田さん、冷水さん(11回)、玉熊さん(26回)の3人とのこと、素晴らしいことです。次回の森活動は11月19日(日)に行われます。一汗掻いて美味しい空気と食事を楽しみましょう。

◆松本伸一さん(13回卒)



毎週土日に集まっている12名の仲間で作陶展を10月5日から8日に野田市のギャラリー平左衛門で開催します。ぜひお越しください。具象作品の楽しい説明と販売も行います。

* *

松本さんの太虚窯の由来は、これは桃山時代に刀や書の日利きであった本阿弥光悦に由来するものだそうです。彼は刀と書のプロで素晴らしい作品を残していても、陶芸に関してはアマチュアを貫き通しました。そんな光悦に因んで私もアマチュアに徹することを掲げるために太虚窯と命名されたそうです。

* *

◆大島齋礼さん(2回卒)

私も86歳になり、家族から「終活」をするように言われているのですが、2020年の東京オリンピックまでは生きていたいと思っています。日本体操協会の顧問をやっていますが最長老になってしまいました。また、最近は新構造展で特選、埼玉県写真サロンで入賞など写真でも名が知られるようになり忙しさが増えています。杉戸町では生涯学習委員長や杉中で週5の体操指導とまだ元気にやっています。そんな訳で終活は暫く先になりそうです。



【日本現代写真家協会、大島さんのフォトギャラリーより】

* *

しかし、先輩たちが元気に活躍されている姿は素晴らしいですね。私もまだまだひと踏ん張り、ふた頑張りですね。